

# ? 気になるインターネット用語辞典

## アップロード

インターネットのネットワークを通じてコンピューターにあるデータをサーバーに転送すること。ウェブサイト上に写真を掲載する時などに行なう作業がアップロードにあたる。

## アプリケーションソフト

コンピューターを使って、文書の作成や表計算など、特定の目的のために作られたプログラム。代表的なものとしては、ワードやエクセルがある。

## インストール

アプリケーションソフトをコンピューターに導入すること。『セットアップ』とも言われる。動画サイトを見る時など、動画再生に必要な機能を事前に取り込むために、インストール作業を行なう場合がある。

## インターネットプロバイダー

コンピューターをインターネットに接続するためのサービスを提供する業者のこと。

## サーバー

インターネットのネットワーク上のコンピューター同士を繋ぎ、ウェブサイトの閲覧やメールの送受信などを提供するもの。

## ダイヤルアップ

電話回線などの公衆回線を通じてインターネットに接続する方法。

## ダウンロード

一般的に、インターネットを通して、サーバーに保存されているデータを自分のコンピューターに取り込むこと。ウェブサイトなどを通じて配信されている音楽や動画などを自分のパソコンに取り込む作業がダウンロードにあたる。

## 通信速度

1秒間に送れるデータの値を示す。一般的に通信速度に利用される単位はMbps。1秒間に何百万ビットのデータを送れるかを表す単位。数が多ければ、通信速度が速いといえる。1Mbps=100万bps=1000Kbpsとなる。インターネットの使用目的に応じて、通信速度を考慮したプラン選びが必要になる。

## バックアップ

データの複製を保存すること。せっかくダウンロードした情報が、万が一消えてしまった場合でもバックアップをしておけば安心。

インターネットを始めようと思っても、普段聞きなれない言葉が多く、それだけで嫌になってしまったことはありませんか？ここでは、よく見聞きするインターネットに関する主な用語を解説します。

## モデム

コンピューターから送られてくるデジタルデータを音声信号に変換したり、音声信号をデジタルデータに変換してコンピューターに送る装置。インターネットの接続に使用する、インターネットケーブルや、USBなどがモデムと呼ばれる。

## DSL

電話回線を使用し、データの通信を高速で行なう技術のこと。電話の音声を伝えるのには使わない、高い周波数帯を使って、通信を行なう技術のひとつ。通信速度は、電話局側から利用者側へデータを送る『下り』と、利用者側から電話局側へデータを送る『上り』に差があり、下りの方が速度が速い仕組みになっている。ダウンロードを行なう際は下りを利用し、アップロードを行なう際は上りを利用するため、使用頻度の高い下りの方が速度が速くなっている。

## DSL2+

ADSLの機能に長距離化と安定性の向上がプラスされ、周波数帯域を従来の2倍にしたもの。周波数帯域が広がることで、データ送信量が従来よりも多いほか、通信速度も速い。

## SDPA

下り（電話局から利用者）への通信速度を向上させる技術を回線に導入したもの。ワイヤレスインターネットなどに使用されている。

## IP (Internet Protocol) アドレス

インターネット上で各コンピューターに割り当てられた識別番号（例：192.168.1.XX）。ウェブサイトを開覧するときに、利用者の閲覧の要求に対し、IPアドレスを識別して各ウェブサイトから応答画面が返ってくる仕組みになっている。

## LAN

コンピューター間または、コンピューターとプリンターなどの端末をつないで、データのやりとりをするためのネットワークのこと。学校内、企業内などの同一建物内で情報を共有することができる。LAN内のいずれかのパソコンがインターネットに接続していれば、その接続を共有して他のパソコンからもインターネットに接続ができる。

## USB

コンピューターとその周辺機器（マウス、キーボードなど）との間で、データを伝送する役割を持つ端子。デジタルカメラから直接写真を取り込む際や、インターネットのモデムの差込みなどにも使われる。ワイヤレスインターネットのモデムとしてUSBを利用して電波をキャッチし、インターネットの接続を行なう機能を持つものもある。